

20260717_終業式の話

みなさんおはようございます。校長の吉岡です。

今日で1学期が終わります。

私にとっては、あっという間の4ヶ月でしたが、みなさんにとってはどうだったでしょうか。

みなさんの前で話をする機会も、始業式を含めて、3回ありましたが、どんな内容を覚えていますか。

始業式では、私の好きな言葉を紹介しました。

「やらなければならない」

そして、九中の教育目標の「しなやかに つよく」から、さまざまな状況にも、柔軟に対応し、誰にとっても、安心して居心地がよく、仲間どうしが繋がれる、そして、さまざまなチャレンジを通じて、自分が、まわりが成長していける九中と一緒に作っていきましようと話しました。

4月22日の全体集会では、あいさつと朝読書の大切さと取組みやルールについて、6月17日の全体集会では、本の一節にふれて自らを振り返ること、流言飛語にまどわされないようにという話をしました。

全体集会で話せなかったことも含めて、ホームページに載せてありますので、見直してみてください。

さて、今日は、夏休みに入るにあたって、取り組んでほしいこと、考えてほしいことを四つ話します。

一つめは、苦手なことにもう一度「挑戦」してみるということです。授業やテストで思うようにいかなかったことや思うような結果が出なかった教科はありませんでしたか。苦手なことにも挑戦してみましょう。

「やらなければならない」

やってみて、挑戦してみて、少しでも一歩踏み出してみましょう。完璧を目指す必要はありませんし、成功するか失敗するかもわかりません。もし、失敗したとしても、そこから学ぶことは必ずあります。人は失敗する生き物です。そして、「失敗は成功のもと」ということばがあります。「失敗の中には成功するためのヒントが隠されていて、その原因を探り、方法やダメだったところを改めることで、成功に近づく」という意味です。失敗を恐れずチャレンジしましょう。

また、失敗したところで終わってしまうから、失敗になるのであって、挑戦し続けるところに失敗はありません。そして、結果ではなく、ほんの少しでも「やってみた」という経験が、みなさんの自信

につながるはずです。

二つめは、「つながり」を深めてほしいということです。この4ヶ月間、みなさんは多くの人に支えられてきたはずです。友だちに助けてもらったこと、先生に教えてもらったこと、家族に協力してもらったこと。ぜひ、感謝の気持ちを伝えましょう。「ありがとう」という一言が、より良い「つながり」を育みます。

三つめは、「九中生としての自覚」を持って、夏休みを過ごそうということです。

夏休みに入れば、普段とは違う場所で、普段とは違う人たちと接する機会も増えるでしょう。その時も、みなさんは一人一人が「九中生」として見られていることを忘れないでください。ルールやマナーを確認し、九中の代表として恥ずかしくない行動ができるよう、意識して過ごしましょう。

そして、最後に。

健康第一です。夜更かししない、熱中症に気をつける、冷たいものを取りすぎないなど、健康には十分気をつけて過ごしてください。

夏休みは、この時にしかできないことをしたり、この時にしか行けないところに行ってみたり、また、長期休み中には帰省やお盆などで家族や親せきと過ごすこともあると思います。そこでもつながりを大切にしてほしいし、さまざまなことに挑戦してほしいと思います。

そして、自分とは違うさまざまな考え方や感じ方に触れて、体や頭だけでなく、心も成長できる夏休みにしてください

8月25日の朝、元気に登校してあいさつをしてください。

これで、終業式の話が終わります。